



(素案)

宮田村 第6次総合計画

基本構想

令和3(2021)年度 ~ 令和12(2030)年度

基本計画

令和3(2021)年度 ~ 令和7(2025)年度



1. 計画の位置づけ

村づくりの基本的な方向を示す総合計画は、これからの宮田村がめざす姿と、それを実現するための基本施策を明らかにするものです。この計画により、総合的で計画的な村づくりをすすめるとともに、めざす姿や基本施策を村民の皆さまと共有し、協働の力で住みよい宮田村を創っていくための計画でもあります。

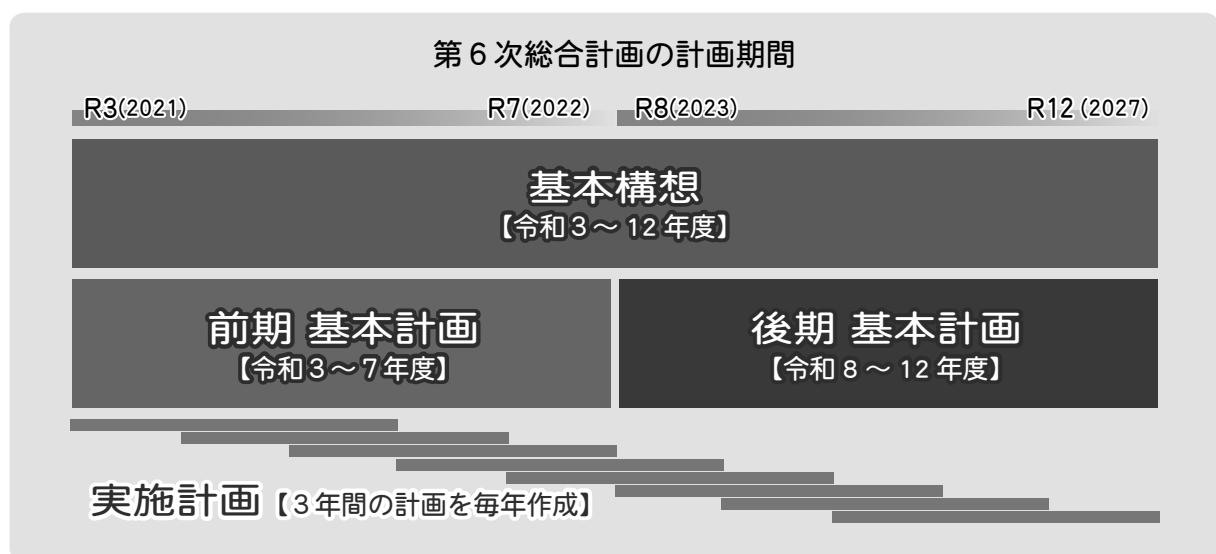
宮田村では昭和 45 年度に策定した第 1 次計画以降、この計画に基づき村づくりをすすめてきました。また、平成 28 年 1 月に施行された村づくりの理念を示す「むらづくり基本条例」でもこの総合計画の策定が明示されています。

2. 計画の体系と期間

宮田村総合計画は、次の 3 つの計画で構成されています。

- ①基本構想：10 年間の基本施策の大綱を示す
- ②基本計画：基本構想に基づき、5 年間の部門別基本施策を示す
- ③実施計画：具体的な事務事業を 3 年間のローリングで毎年策定

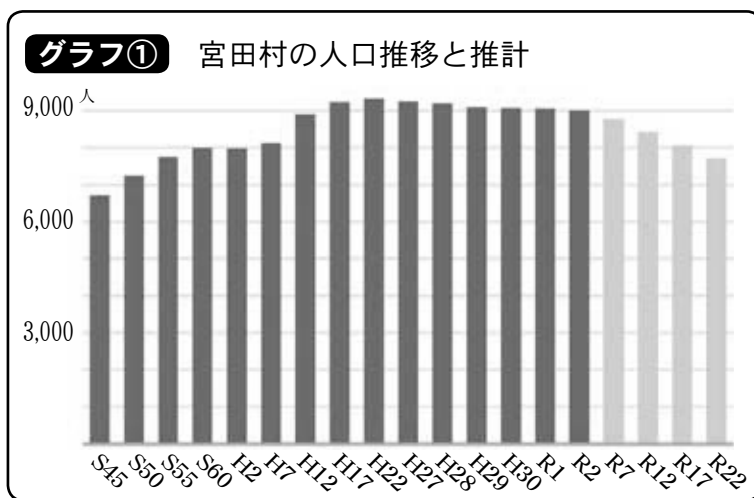
また、この第 6 次計画からは、基本計画を実現するための「アクションプラン」を作成し、各施策の進行管理、評価と見直しができる体制を強化していきます。



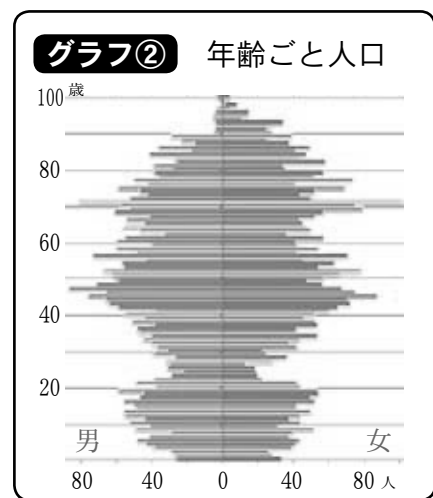
3. 計画策定にあたり捉えた現状と課題

1. 人口の現状と課題

宮田村の人口は、昭和40年代の6,000人台から平成19年に約9,400人台となるまで順調に増えてきました。その後も微増微減を繰り返す横ばい状態が続いていましたが、ここ数年、減少率は平均を下回るものの、全国的な傾向と同様、減少傾向が続いています（下グラフ①）。特に出生数と、20歳～30歳の人口の減少が顕著になってきています（下グラフ②）。



S40～R2は住民基本台帳人口。R7以降は国立社会保障・人口問題研究所推計数値を住民基本台帳人口に補正したもの



長野県毎月人口移動調査（R元年10月1日時点）

【詳細データは資料編●を参照】

2. 前計画の評価結果

令和2年度までの第5次総合計画では、8つの基本施策(章)、合計48の施策(節)を掲げ、村づくりをすすめてきました。第6次総合計画策定に向けて行ったアンケート調査では、48施策(節)ごとの満足度と今後の重要度を尋ね、役場内部で実施した自己評価と合わせ第5次計画の評価としました。

アンケート調査の結果、重要度が高く、現状の満足度が高かった施策は「子育て支援サービス」、「妊娠出産期に対する支援」、「疾病予防や健康づくり」などがあげられました。逆に重要度は高いものの、現状の満足度が低い施策としては「利用しやすい交通手段の確保」が一番にあげられ、続いて「商業振興」、「雇用機会の確保対策」、「道路の整備・安全対策」があげられています。

また、住みやすい宮田村とするため今後特に力を入れるべき分野、優先すべき分野を尋ねたところ、「子育て支援、少子化対策」が最も多く、次いで「子どもや高齢者などの生活交通の確保」、「高齢者・障がい者福祉の充実」、「人口減対策と移住定住の促進」が挙げられています。

【評価結果・アンケート結果は資料編●を参照】

4. SDGs（持続可能な開発目標）の設定

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、2015年に国連で採択された、持続的でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されます。

第6次総合計画では村が展開する施策が、この国際目標のどのゴール（目標）に向かっているものなのかを設定し下のマークを使って表示しています。



No	17の目標	
1	貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
2	飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
3	すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
4	質の高い教育をみんなに	すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
5	ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
6	安全な水とトイレを世界中に	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
8	働きがいも 経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。
9	産業と情報革新の基盤をつくろう	強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
10	人や国の不平等をなくそう	国内内及び各国間の不平等を是正する。
11	住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
12	つくる責任 つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する。
13	気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
14	海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
15	陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
17	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

基本 構想

私たちがめざす村の姿

基本構想

【令和3～12年度】

豊かな人文
住みよい宮田

村の将来像・理念：「豊かな人文・住みよい宮田」

先人が守り育んできた進取の気質と人情味あふれる住民性、歴史に裏付けられた豊かな文化、安全で快適な住みよい環境を受け継ぎ、さらに充実させていくため、昭和45年に策定した第1次計画から「豊かな人文・住みよい宮田」を理念として掲げ、村づくりに取り組んできています。

基本構想ではこの理念に基づき、今後10年間の基本目標、基本施策を定めます。

基本 構想

私たちがめざす村の姿

● むらづくりの基本目標 ●

住みたい、住んでよかった 住み続けたい宮田村の実現

6つの基本施策

6つの施策を相関的に実施することで基本目標の実現をめざします

1

活力あふれる村づくり

め
ず
す
の
村
の
姿

① 人口減をくい止める村

移住定住の促進、自然減対策に取り組めます

② 商工業が元気な村

商工業活性化のための支援や環境整備に取り組めます

③ 魅力ある農業の村

宮田方式を活かし、担い手確保や6次産業拡大に取り組めます

④ 賑わい集う村づくり

観光振興や賑わいの創出により関係人口の増加を図ります

2

子育て支援日本一をめざす村づくり

め
ず
す
の
村
の
姿

① 一貫した子育て支援の村

妊娠出産期から一貫した支援ができる体制を充実させます

② 地域みんなで子育ての村

地域全体で子どもや子育て世帯を支える体制を充実させます

③ 郷土を創る人財づくり

学校教育の充実により、村の将来を担う子どもたちを育てます

3 安心安全な村づくり

め
が
た
た
の
姿

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ① 美しい環境を守る村 | 美しい自然や景観を次代に引き継ぐ取り組みを進めます |
| ② 安心安全で快適な村 | 安心安全で快適な生活を支えるインフラ整備を進めます |
| ③ みんなで守り備える村 | 災害などへの備えや防犯、交通安全対策を強化します |

4 あたたかさを届ける村づくり

め
が
た
た
の
姿

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| ① みんなで支えあう村 | 支援を必要とする方を地域みんなで支える体制を構築します |
| ② みんなに温かさが届く村 | 高齢者や障がい者などをサポートする制度の充実を図ります |
| ③ 健康長寿の村 | 健康で暮らせるためのサポートを充実します |

5 協働の村づくり

め
が
た
た
の
姿

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| ① 顔が見える協働の村 | みんなが手を取り合い、村づくりをすすめる体制を作ります |
| ② みんながいきいき活躍する村 | 誰もが活躍の場を持ち、地域づくりができる活動を支援します |
| ③ 伝統と誇りを共有する村 | 地域の文化を共有し、誇りが持てる村づくりにつなげます |

6 村民の皆さまのための行政事務

め
が
た
た
の
姿

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ① 効率的で効果的なサービスの提供 | 効率的で効果的なサービス提供を推進します |
| ② 施設資産の適正な管理 | 適正で効率的な資産の管理を進めます |



1. むらづくりの基本目標

住みたい、住んでよかった 住み続けたい宮田村の実現

村中のあちらこちらに子どもたちの元気な声が響き、おじいちゃん、おばあちゃんが温かく見守る。若者も働き盛りの世代も、ふるさと宮田に愛着と誇りを持ち、アルプスを望む美しい風景の中でいきいきと生活する。そんな村を創っていくことが「住みたい、住んでよかった、住み続けたい宮田村」の実現につながると考えています。

次の「6つの基本施策」を相関的に取り組むことで私たちの宮田村を創ります。

2. 基本目標を達成するための「6つの基本施策」

(1) 活力あふれる村づくり

【人口／産業】

めざす姿 ①人口減をくい止める村 ②商工業が元気な村 ③魅力ある農業の村 ④賑わい集う村

村の活力を維持するため人口確保の施策を最優先に取り組みます。また、商工業や農業など産業活性化のための支援策、観光などによる関係人口の増加施策などにより、元気で賑わいのある村づくりに取り組みます。

(2) 子育て支援日本一をめざす村づくり

【子育て／教育】

めざす姿 ①一貫した子育て支援の村 ②地域みんなで子育ての村 ③郷土を創る人財づくり

日本一子育て支援が充実した村、子育てがしやすい村をめざし、妊娠、乳幼児期から一貫した支援ができる体制を充実させます。また、地域みんなで子育てや学校教育を応援するしくみを拡充し、次代の宮田村を創る人財づくりに取り組みます。

(3) 安心・安全な村づくり

【環境／インフラ／防災・防犯】

めざす姿 ①美しい環境を守る村 ②安心安全で快適な村 ③みんなで守り備える村

宮田村が誇る豊かで美しい自然環境を守っていくとともに、快適で安心・安全な生活を送ることができるようインフラ整備を進めます。また、災害などへの備えを強化し、地域みんなが安心・安全な村づくりを進めます。

(4) あたたかさを届ける村づくり

【福祉／健康】

めざす姿 ①みんなで支えあう村 ②みんなに温かさが届く村 ③健康長寿の村

高齢の方や障がいを持った方など支援を必要としている人を、地域みんなで支える体制を構築します。特に高齢者などの交通手段確保についても制度や支援の拡充に取り組みます。また、誰もが健康で安心して暮らすことができる村づくりを進めます。

(5) 協働の村づくり

【協働／住民活動】

めざす姿 ①顔が見える協働の村 ②みんながいいき活躍する村 ③伝統と誇りを共有する村

各施策を進めていくためには、協働の力が不可欠です。住民みんなが協力する村づくりができるよう、お互いの顔が見える関係づくりや自主的な活動への支援、宮田村を育ててきた伝統文化の共有と活用を進めます。

(6) 村民のみなさまのための行政事務

めざす姿 ①効率的で効果的な行政運営 ②施設資産の適正な管理

施策に基づき実施する事務事業や施設、資産の管理を、効率的で効果的に行っていくために、PDCA サイクルの確立、職員力や組織力の向上などに取り組み、村民のみなさまのための行政事務を推進します。

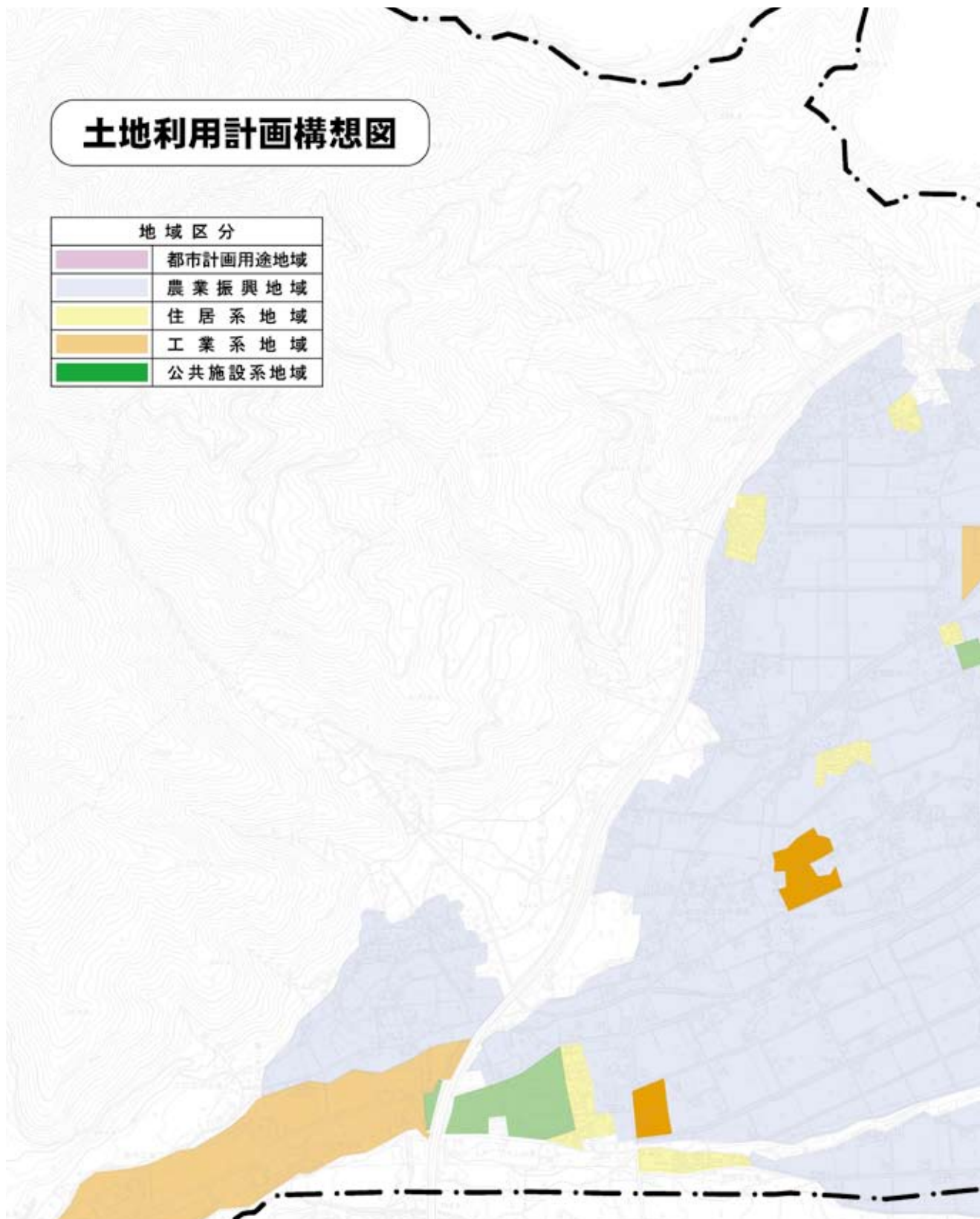
3. 人口目標

令和 12 年度の人口 **8,800 人**

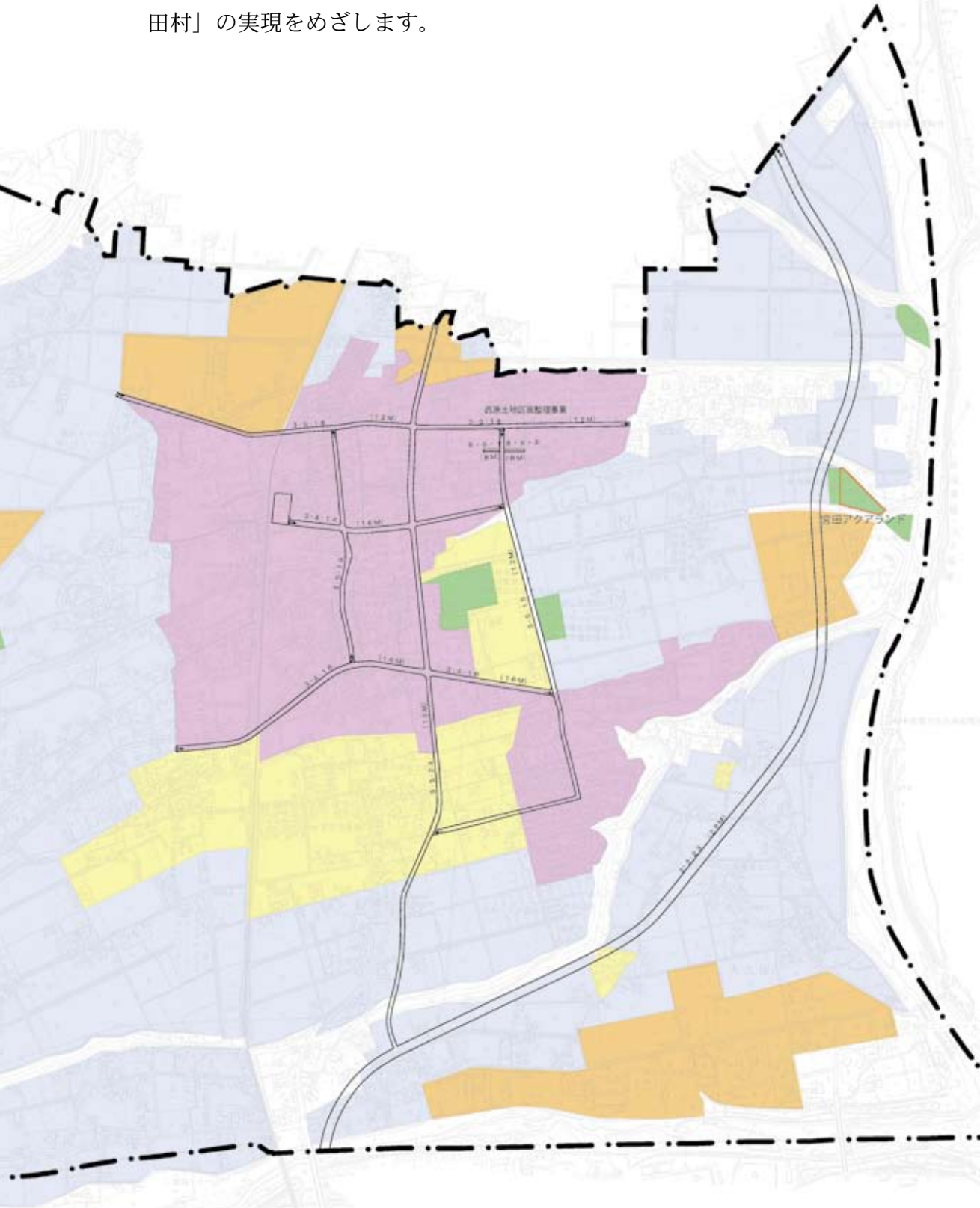
令和 2 年 4 月現在の人口は 8,991 人（住民基本台帳人口）で、10 年後、令和 12 年の人口は約 8,400 人と推計しています。宮田村では、ここまでに掲げた 6 つの基本施策を展開していくことで、全国的に続く人口減少を最小限に食い止め 10 年後の人口目標を 8,800 人に設定します。

※人口の推移と推計 3 頁参照


4. 土地利用構想



6つの基本施策を効果的に実施していくためには、限られた土地の効率的な活用が不可欠です。中央アルプスの主峰駒ヶ岳山頂から連なる美しく豊かな自然と景観を保全しつつ、活力ある産業や快適な住環境を確保するための土地利用を進め、小さくてもキラリと輝くコンパクトヴィレッジ「住みたい、住んでよかった、住み続けたい宮田村」の実現をめざします。




次頁からの「基本計画」の見方



基本計画
1章

活力あふれる村づくり

国連で採択されている国際目標SDGsのターゲットアイコンを節ごと表示



1節
めざす姿①：「人口減をくい止める村」 人口減対策

宮田村の人口は平成25年前後から減少に転じ、特に平成28年からは死亡者数が出生者数を上回る自然減の状態が続いています。また、転出による20代人口の減少も顕著になってきています。活力ある宮田村を創っていくため、移住定住の促進やリターン支援、住む場所の確保に取り組み、人口目標に掲げた人口の確保をめざします。

目標とする指標

令和7（2025）年の人口 **8,900** 人

（住民基本台帳人口／令和2年4月：8,991人）


手段①：移住の促進

首都圏などからの移住希望者に対する効果的なアプローチと、移住につながる具体的な支援ができる体制を強化して、転入が転出を上回る人口の社会増を図ります。

主な取組 移住相談体制の強化
セミナーの開催
推進協議会の機能強化 など

計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略

担当 みらい創造課



2020年 現状 人口の社会増減が減少傾向にある

2025年 めざす姿 人口が社会増になっている

めざす姿に対する目標数値

めざす姿に
するための
“手段”を
①以降に
示す

関連する計画を表示し、個別にある計画とのリンク付けと見える化を図る



1章～6章

前期基本計画

【令和3～7年度】

活力あふれる村づくり



1節

めざす姿①：「人口減をくい止める村」 人口減対策

宮田村の人口は平成25年前後から減少に転じ、特に平成28年からは死亡者数が出生者数を上回る自然減の状態が続いています。また、転出による20代人口の減少も顕著になってきています。活力ある宮田村を創っていくため、移住定住の促進やUターン支援、住む場所の確保に取り組み、人口目標に掲げた人口の確保をめざします。

目標とする指標

令和7（2025）年の人口 **8,900人**

（住民基本台帳人口／令和2年4月：8,991人）

手段①：移住の促進

首都圏などからの移住希望者に対する効果的なアプローチと、移住につながる具体的な支援ができる体制を強化して、転入が転出を上回る人口の社会増を図ります。

主な取組 移住相談体制の強化
セミナーの開催
推進協議会の機能強化 など

計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略

担当 みらい創造課

2020年 現状

人口の社会増減が減少傾向にある



2025年 めざす姿

人口が社会増になっている

手段②：Uターン支援

首都圏などに住む宮田村出身の学生や若年層に対し、地元企業や子育て情報などを効果的に発信、共有できる体制を整備してUターン支援の強化を図ります。

主な取組 発信体制の構築 / 就職セミナーの開催 / 支援制度の強化 など

計 画 まち・ひと・しごと創生総合戦略

担 当 みらい創造課

2020年 現状

若い世代の人口が減少している



2025年 めざす姿

20～30歳代の人口が増えている

手段③：「子育て支援日本一」の発信

減少する出生数の増加をめざし、子育て支援の充実を図るとともに「子育てするなら宮田村」を発信します。また、結婚支援や健康長寿施策などで自然減対策に取り組みます。



主な取組 子育て支援の充実と発信 / 結婚支援 / 健康長寿の取り組み など

計 画 まち・ひと・しごと創生総合戦略 / 健康増進計画・子ども / 子育て支援事業計画

担 当 みらい創造課・福祉課・教育委員会

2020年 現状

出生数が減少傾向



2025年 めざす姿

出生数が増えている

手段④：住宅施策

移住希望者や居住地を求める人が、村内で住宅や宅地を確保できるよう宅地や住宅の確保や空き家、空き土地の有効活用を進めます。

主な取組 住宅用地の確保 / 空き家空き土地バンクの拡大 など

計 画 まち・ひと・しごと創生総合戦略

担 当 みらい創造課・建設課

2020年 現状

空家・空き土地が増えている



2025年 めざす姿

提供できる住宅・宅地が増えている



2節

めざす姿②：「商工業が元気な村」 商工業の振興

商工業など多くの事業者が村の発展を支えてきています。一方で、後継者の不足やグローバル化への対応など、多くの課題を抱えています。また、アンケートなどでは、中心市街地の活性化を求める声も多く聞かれました。宮田村の元気を生み出すため、ニーズを捉えた有効な支援を展開します。

目標とする指標

村内事業所の年間販売・出荷額の増加

(2016年経済センサス：販売額 151 億 3,000 万円 / 出荷額 449 億 3,700 万円)

手段①：振興と活性化のための支援

経営や人材育成、起業などに対する支援、経済状況が急激に悪化した場合の対策などのほか、宮田村の賑わいや新たな活力を生み出す取り組みなどに対し支援をします。

- 主な取組 各種融資制度や補助制度 / 商工会との連携 / 空き家空き店舗の活用 など
- 計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 担当 産業振興推進室

2020年 現状

事業所数が減少傾向にある



2025年 めざす姿

事業所数が維持されている

手段②：企業マッチング支援

宮田村の特性を生かした新たな企業や事業所の誘致、村内企業の設備投資や拡大に対する支援や環境整備に取り組みます。

- 主な取組 企業誘致活動 / 活動整備支援 など

計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略

担当 産業振興推進室

2020年 現状

事業所の新設が少ない



2025年 めざす姿

雇用者数が増えている

3節

めざす姿③：「魅力ある農業の村」 農業の振興



宮田村においても農業の担い手不足が深刻化しています。「一村一農場」を掲げ全国に先駆けて構築した「宮田方式」を継承発展させ、効率的な農業を進めるとともに、ブランド化や第6次産業化を推進し、魅力ある農業を展開していくことで、農業への参画者を増加させ持続可能な農業システムを確立します。

目標とする指標

農業販売額 11億5,200万円

(JAを通じた販売額+花卉農家販売実績 / 2019年：11億5,200万円)

手段①：宮田方式の継承と発展

宮田方式を継承発展させ有効的な土地利用を推進するため、その中心となる「農事組合法人みやだ」の健全で効果的な経営を支援します。

主な取組 法人みやだ支援 / 有効な土地利用の促進 / スマート農業の導入研究 など

計画 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

担当 産業振興推進室

2020年 現状

農地をなんとか維持している



2025年 めざす姿

農地が有効に利用されている

手段②：担い手確保と育成

健全な農地を保全し、持続可能な農業を確立するため、新規就農者に対する支援や非農家が参画できるしくみの確立などにより担い手の確保と育成をすすめます。

主な取組 新規就農支援 / 非農家の参画拡大 / 農福連携 / 子どもの農業体験 など

計 画 宮田村農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

担 当 産業振興推進室

2020年 現状

担い手不足が課題になっている

2025年 めざす姿

農業の担い手、参画者が増えている

手段③：第6次産業の拡大とブランド化

減農薬米やワイン紫輝など、付加価値のある農産物の活用により、第6次産業商品の拡大、開発を行い「宮田ブランド」を確立、発信することで宮田村農業の魅力を高めます。



主な取組 販路拡大 / 新商品の開発
担い手や推進体制の整備 など

計 画 農業の経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

担 当 産業振興推進室

2020年 現状

ワインなどの販路を拡大中

2025年 めざす姿

第6次産業製品が増えている

手段④：農村環境の整備と活用

農業を支える基盤インフラや森林を整備するとともに、森林や清流を生かした産業の拡充などに取り組むことで、美しい農山村環境を整備します。

主な取組 農業インフラの整備 / 多面的機能支払交付金事業 / 森林整備 など

計 画 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

担 当 産業振興推進室

2020年 現状

- ・耕作条件が悪い農地を整備中
- ・未整備の森林が散在している

2025年 めざす姿

- ・条件の悪い農地がない
- ・整備された森林が増えている



4節

めざす姿④：「賑わい集う村」 観光とまちなか振興

リニア新幹線の開通も見据え、多くの人を訪れる賑わいのある村を創出するために、観光とまちなか振興に取り組みます。村内の地域資源の価値を村民が共有し、村民に愛される場所を創ることで村外へ発信します。また、点在する観光スポットを線でつなぎ、面として広げていくことで、みんなが集う賑わいのある村づくりをめざします。

目標とする指標

宮田村を訪れる観光客 13万4,300人

(主要観光施設等の利用者実数 / 2019年：11万1,914人)

手段①：中央アルプス駒ヶ岳の整備と活用

中央アルプス国立公園へ多くの方に訪れてもらえるよう、村内外に向けてさまざまな発信を行います。また、登山道の整備や安全対策、環境保全に取り組みます。



- 主な取組
 - 登山道の整備
 - 学校登山の受入
 - 山の日イベントの開催 など
- 計画 観光計画
- 担当 産業振興推進室



手段②：宮田高原の整備と活用

一定の期間はレンゲツツジやキャンプでにぎわう宮田高原に、さらに多くの人々が魅力を感じ、行ってみたいくなるような整備と取り組みをすすめます。



- 主な取組 活用環境の整備 / アクセス林道の整備 / 課外授業など学校での活用 など
- 計 画 観光計画
- 担 当 産業振興推進室

2020年 現状

レンゲツツジなどにより注目度が高まっている



2025年 めざす姿

訪れる人が増えている

手段③：山麓エリアの整備と活用

駒ヶ岳への玄関口にあたる、ふれあい広場から西のエリアに多くの人を誘導し、滞在してもらうための整備や取り組みをすすめます。

- 主な取組 アサギマダラの里や遊歩道などの整備 / エリア内事業者との連携 など
- 計 画 観光計画
- 担 当 産業振興推進室

2020年 現状

観光資源が散在している



2025年 めざす姿

エリアに訪れる人が増えている

手段④：伊那街道「宮田宿エリア」の整備と活用

伊那街道宮田宿に残る資源を活用した、魅力あるまちなかエリアを整備することで、村民も観光客も集い賑わうまちなかを創出します。

- 主な取組 歴史的価値の調査 / 活用方法の研究 など
- 計 画 観光計画 / 景観計画
- 担 当 みらい創造課・建設課・産業振興推進室

2020年 現状

地域資源として共有されていない



2025年 めざす姿

計画的な整備と活用ができる状態

手段⑤：点から面、線への展開

点在するスポットを線でつなげ、面へと広げる取り組みを進めることで、宮田村への誘客と滞在時間の増加を図ります。

主な取組 周遊手段の整備 / DMO の活用 / 観光振興体制の強化 など

計 画 観光計画

担 当 産業振興推進室

2020年現状

注目度が高まっている場所が点在する



2025年 めざす姿

案内できる周遊コースができている

手段⑥：村民に愛される場所づくり

村民が魅力を感じ、訪れたい場所として育てていくことが、村外から多くの人を呼び込むことにつながります。村民に愛され、村民が楽しめる場所となる取り組みを進めます。



主な取組 ツアーやイベントの開催 / フジバカマの里親制度など村民協働の取組 など

計 画 観光計画

担 当 産業振興推進室

2020年現状

多くの村民が訪れるスポットが少ない



2025年 めざす姿

ガイドなどで関わる村民が増えている

手段⑦：交流人口・関係人口を増やす取り組み

賑わいを創出するため、観光や交流事業などにより交流人口の拡大を図るとともに、よりつながりの深い関係人口を増やす取り組みをすすめ、移住定住促進にもつなげます。

主な取組 インバウンド観光 / オーナー制度など農業体験 / 特産品やふるさと納税の活用 など

計 画 まち・ひと・しごと創生総合戦略

担 当 みらい創造課・産業振興推進室

2020年現状

交流事業が定着している



2025年 めざす姿

関係人口が増えている

子育て支援日本一をめざす村づくり



1節

めざす姿①：「一貫した子育て支援の村」 妊娠期から切れ目ない支援

核家族化や地域コミュニティ機能の低下などにより、子育てにひとり悩む家庭が増えています。宮田村では妊娠期から子育て期全体をとおして、継続的で一貫した支援ができる体制と、ニーズを捉えた支援制度、相談体制を充実させることにより、安心して子育てを楽しむことができる村づくりをすすめます。

目標とする指標

子育て支援に対する満足度 **80.0%**

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：74.8%)

手段①：母子保健・家庭支援の充実

成長やそれぞれのケースに応じた保健体制や支援制度の充実、いつでも気軽に相談できる体制の構築などにより、子育て家庭の不安や精神的、経済的負担の軽減を図ります。



主な取組 検診など母子保健事業
相談体制の拡充 / 支援制度の充実 など

計 画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画
まち・ひと・しごと創生総合戦略

担 当 福祉課・教育委員会

2020年 現状

窓口の一本化が図られている

2025年 めざす姿

一貫支援ができる体制が確立している



2節

めざす姿②：「地域みんなで子育ての村」 地域で支える子育て

子育て世代を対象にしたワークショップでは、子育て中の孤独感、子育て情報の不足による不安感を訴える声が多く聞かれました。宮田村では、その解消のため、子育て家庭を地域全体で支えることができる村をめざし、地域で支える体制づくりや世代を越えた交流の場づくり、子どもが健やかに育つ環境づくりなどに地域みんなで取り組みます。

目標とする指標

子育て環境に対する満足度 **80.0%**

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：76.7%)

手段①：子育て家庭を地域で支える

世代を越えみんなで子育て家庭を支援することのできるよう、その体制づくりや交流の場、子どもの居場所づくり、子育てと仕事を両立できる支援などに取り組みます。

主な取組 ファミリーサポートの充実 / 交流の場づくり / 子育て期女性の就業支援 など

計画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画 / まち・ひと・しごと創生総合戦略

担当 福祉課・教育委員会

2020年 現状

地域で支援する体制ができてきている ■■■■■

2025年 めざす姿

支援に関わる人が増えている

手段②：保育環境の充実

多様なニーズにきめ細かく対応できる保育環境の整備、保育サービスの提供を地域のみなさんと一体となってすすめることで、子どもの心身共にすこやかな成長を支援します。

主な取組 保育園の運営 / 療育環境の整備 / 小学校との連携 など

計 画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

保育に対するニーズが多様化している



2025年 めざす姿

満足度が増加している

手段③：児童虐待の防止

児童虐待を防止し子どもの福祉を守るため、地域や関係機関、事業所などと連携した取り組みをすすめるとともに、その拠点となる支援体制を構築します。

主な取組 子ども家庭総合支援拠点の設置 / 子どもの居場所づくり など

計 画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

連携した活動や支援が必要



2025年 めざす姿

総合的な支援体制が整っている



3節

めざす姿③：「ふるさと故郷を創る人財づくり」学校教育の充実

学校教育をとおして、ふるさとを愛する心を育み、学力と体力の向上を図ります。また、地域と密接に連携したキャリア教育や地元産の食材を使った学校給食など、小中学校が村内にそれぞれひとつずつ“一村一校”の宮田村ならではの地域と連携した取り組みをさらに充実させることで、故郷を創る人財の育成をめざします。

目標とする指標

- | | |
|----------------|-------|
| ① 学校教育に対する満足度 | 85.0% |
| ② 児童生徒のふるさと愛着度 | 85.0% |

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：① 74.8% ② 統計なし)

手段①：ふるさと郷育の充実

総合学習やキャリア教育などの機会をとおり、宮田村のことを学び、地域の人と関わることで、ふるさとを愛する“郷育”をすすめます。

主な取組 地域を素材とした総合学習 / キャリア教育 / 学校給食を育てる会との連携 など

計 画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

総合学習でふるさと学習に取り組んでいる

2025年 めざす姿

学習機会が増えている

手段②：開かれた学校づくり

地域のみなさんが学校を支援するコミュニティースクールなどをとおして、地域と学校とのつながりを深め、子どもたちを地域と学校が一体となって育てる環境をつくりまします。



主な取組 コミュニティースクール体制の充実 など

計 画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

支援体制が整っている

2025年 めざす姿

支援に関わる人が増えている

手段③：学力と体力の向上

検討委員会による分析結果の活用や、パソコンやタブレット端末を活用した ICT 教育の推進などにより向上を図ります。また次代を担う子どもたちの国際教育を推進します。

主な取組 学力向上検討委員会 / ICT 教育の環境整備 / 国際交流事業 など

計 画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

ICT など新たな学習環境を導入

2025年 めざす姿

学力・体力が向上している

手段④：特別支援教育の充実

障がいなど特別な支援が必要な子に対し、その特性にあった教育の充実を図るとともに、相談環境や支援体制、障がいを持つ子も持たない子も共に学ぶ機会の充実を図ります。

主な取組 特別支援教育の充実 / 副学籍の充実 など

計 画 教育大綱 / 子ども子育て支援事業計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

教育現場に周知・理解がされている



2025年 めざす姿

地域社会に理解が広がっている

手段⑤：教育施設整備の検討

教育環境の変化や施設の老朽化に対応するための施設整備を計画的に実施します。また、校舎の更新を見据え、効率的な施設のあり方について検討委組織を設置して研究します。

主な取組 校舎や施設の整備、維持管理 など

計 画 教育大綱 / 公共施設総合管理計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

研究を開始している



2025年 めざす姿

構想が具体的になっている

安心安全な村づくり



1節

めざす姿①：「美しい環境を守る村」 環境・景観の保全と創造

記録的な猛暑や豪雨、暖冬など地球温暖化の影響はこの地域でも感じざるを得ない状況になってきています。また、不法投棄や管理のできない森林など身近な生活環境に直結する問題も増えてきています。中央アルプスや清流など宮田村が誇る豊かで美しい自然と、それらが織りなす風景を次代に引き継ぐため、その保全と創造に取り組みます。

目標とする指標

環境・景観保全に対する満足度 **75.0%**

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：69.5%)

手段①：地球温暖化対策

地球温暖化対策実行計画に基づき、宮田村役場関連施設が率先して環境負荷の低減を図るとともに、その活動を地域に広げる取り組みをすすめます。

主な取組 エコアクション21 取得補助 / エコポイント事業 など

計 画 地球温暖化対策実行計画

担 当 みらい創造課

2020年 現状

地域全体の活動に広がっていない

2025年 めざす姿

有効な事業や啓発を実施している

手段②：自然環境の保全

中央アルプスや緑豊かな里山、清らかな水など美しい環境とその生態系を守るため、森林の育成、水資源の保全のための取り組みをすすめます。

主な取組 環境保全区域等の指定 / 動植物の保護 / 森林整備 など

計 画 環境基本計画 / 森林整備計画

担 当 住民課・建設課

2020年現状

自然環境・水資源が保全されている
民有林が整備されていない

2025年 めざす姿

良好な自然環境・水質を維持している
整備された森林が増えている

手段③：景観の保全と創造

中央アルプスの山並みや田園風景が織りなす宮田村の景観は、宮田村の大きな魅力のひとつです。この景観の保全と創造に取り組み、景観形成のための活動を支援します。



主な取組 景観条例の運用
観形成活動への支援 など

計 画 景観計画

担 当 建設課

2020年現状

活動団体が減少している

2025年 めざす姿

活動団体が増加している

手段④：循環型社会の形成

ごみの排出量を減らし、資源化する循環型社会をつくるために、排出抑制や再利用などの啓発、ごみ分別の徹底を継続して行います。

主な取組 家庭ごみなどの収集・処分 / 資源物の回収 など

計 画 一般廃棄物処理基本計画

担 当 住民課

2020年現状

可燃ごみが増加している

2025年 めざす姿

可燃・不燃ごみともに減っている

手段⑤：快適な生活環境の維持

快適な生活環境を維持するため、ごみのポイ捨て、騒音や悪臭、空き地管理など生活環

境に悪影響を与える状況を防止、改善するための取り組みをすすめます。

主な取組 不法投棄パトロール / 生活環境に対する苦情への対応 など

計 画 環境基本計画

担 当 住民課

2020年現状

不法投棄、管理されない空き家や土地などが増えてきている

2025年 めざす姿

ごみのポイ捨てや環境苦情が減っている



2節

めざす姿②：「安心安全で快適な村」インフラの整備

道路や上下水道、公共施設などの老朽化が進んでいます。安心で安全な生活を支える社会インフラの維持整備、更新を計画的にすすめていく必要があります。また、国道153号バイパス「伊駒アルプスロード」やリニア新幹線の開通を見据えた道路などの整備も含めた公共交通の強化により、安心安全で快適な村づくりをすすめます。

目標とする指標

インフラ整備に対する満足度 60.0%

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：54.2%)

手段①：幹線道路の整備

村道1号線(北割線)や21号線(広域農道)など幹線道路の整備を引き続き行うとともに、国道153号バイパスの開通を見据えアクセス道路などの計画策定をすすめます。

主な取組 都市計画道路の整備 / 伊駒アルプスロードに伴う道路計画 など

計 画 都市計画

担 当 建設課

2020年 現状

幹線道路を整備中・バイパス
関連道路の計画策定に着手

2025年 めざす姿

幹線道路整備率が向上
関連道路工事に着手

手段②：生活道路・水路・橋梁などの整備

生活道路や水路、橋などの管理と計画的な修繕をすすめるとともに、住宅環境などの変化に伴う道水路の改良、交通安全施設の拡充に取り組みます。



主な取組 補修や改良工事 / 橋梁点検
除雪体制の充実 など

計 画 橋梁長寿命化計画

担 当 建設課・議会事務局

2020年 現状

維持管理・修繕を実施している

2025年 めざす姿

要望に対する実施率が増加している

手段③：上下水道施設の管理

安全で安定的な供給体制と健全な経営を維持するとともに、老朽化が進む施設の更新計画を策定し計画に沿った管理をすすめます。また下水道施設の耐震化に取り組みます。

主な取組 施設の維持管理 / 更新計画の策定 / 下水道施設の耐震化 など

計 画 下水道ストックマネジメント計画

担 当 建設課

2020年 現状

施設の管理計画が不十分

2025年 めざす姿

計画が策定されている

手段④：土地基礎データ整備

土地利用の基礎データを整備するため、地籍調査事業に引き続き取り組みます。

主な取組 地籍調査事業 など

計 画 ー

担当 建設課

2020年現状
調査実施中



2025年 めざす姿
実施率が増加している



3節

めざす姿②：「みんなで守り備える村」 防災・防犯・交通安全

各地で頻発する“想定外”の災害は他人ごとではありません。いつ来てもおかしくない災害に対し、しっかりとした備えをしておくことが必要です。防災施設や設備の整備充実に加え、自主防災や消防団など、地域で守り備える体制を強化します。また防犯や交通安全にも地域一体になって取り組み、みんなで守り備える村をめざします。

目標とする指標

地域防災・交通安全・防犯に対する満足度 **70.0%**

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：64.6%)

手段①：地域防災活動の推進

「自助」、「共助」、「近助」の体制を強化するため、訓練や啓発活動をすすめるとともに、自主防災組織の体制強化に向けた支援を行います。

主な取組 防災訓練の実施 / 自主防災組織への支援 / 支え合いマップの作成・更新 など

計画 地域防災計画

担当 総務課

2020年現状

自主防災の重要性が増してきている



2025年 めざす姿

訓練参加人数が増えている

手段②：消防団の充実・強化

村防災の要である消防団の充実を図るため、機関や装備などの整備を計画的に実施します。また団員を確保するための支援や、体制づくりに取り組みます。

主な取組 機関や施設・装備の更新 / 団員世帯応援助成金 など

計 画 ー

担 当 総務課

2020年 現状

団員の確保に苦勞をしている



2025年 めざす姿

新入団員数が増えている

手段③：防災施設の整備

あらゆる災害に対応するため、設備の更新や防火水槽の耐震化などをすすめます。また資機材や備蓄品の確保をすすめ、その保管と拠点機能を持つ施設についても検討します。

主な取組 防火水槽の耐震化 / 防災無線のデジタル化 など

計 画 施設更新計画

担 当 総務課

2020年 現状

計画に沿った更新を実施中
災害時の拠点となる施設がない



2025年 めざす姿

計画に沿って更新がすすんでいる
防災拠点の整備に着手している

手段④：体制や備えの強化

大規模災害などへの備え、危機管理体制の強化を図ります。また、さまざまな状況に対応ができるよう、関係機関や民間事業所などとの連携をすすめます。

主な取組 業務継続計画の策定 / 民間と連携した避難所・福祉避難所の強化 など

計 画 ー

担 当 総務課

2020年 現状

各地で経験のない災害が起こっている



2025年 めざす姿

対応できる体制の強化が図られている

手段⑤：地域防犯・交通安全活動の推進

防犯や交通安全のための環境を整備するとともに、啓発活動や特に子どもや高齢者の安全を地域で見守る活動の充実を図ります。

主な取組 防犯灯の増設 / 防犯指導員 / 見守り隊や見守りの家 など

計 画 ー

担 当 総務課・議会事務局・教育委員会

2020年 現状

事件事故の発生件数が横ばい状態



2025年 めざす姿

事件事故が減少している

手段⑥：消費者教育

複雑、巧妙化する特殊詐欺や悪質商法の被害を防止するため、消費者教育や相談体制の充実を図ります。

主な取組 啓発活動 / 広域による相談センターの設置 など

計 画 ー

担 当 総務課・みらい創造課

2020年 現状

手口が巧妙化複雑化している



2025年 めざす姿

広域連携による専門相談窓口が設置されている

あたたかさを届ける村づくり



1節

めざす姿①：「みんなで支えあう村」 地域で支えあう福祉

団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」が迫り、少子高齢化社会への対応が急務となっています。宮田村では、人と人とのつながりを大切にし、そのつながりを「地域の宝」として育てていくことで、高齢者など支援を必要とする方を、地域みんなで支えあうことができる村をめざします。

目標とする指標

自宅で暮らす高齢者の割合 **87.0%**

(高齢者人口のうち施設入所を除く自宅で暮らす人の割合 / 2019年：86.5%)

手段①：地域で支えあう体制の構築

地域の中でお互いに助け合い支えあえる体制をつくるために、支えあいに対する理解を深めるための取り組みや、地域内のつどいの場づくりをすすめます。

主な取組 地域支え合いのつどい など

計 画 老人福祉計画 / 介護保険事業計画

担 当 福祉課

2020年 現状

支えあいの重要性を啓発中



2025年 めざす姿

支えあいの実効的な体制ができている

手段②：ボランティア体制の充実

高齢者などの生活を支援する体制を充実させるため、支援内容のニーズ把握を行いながら、ボランティアによる支援ができる体制を構築します。

主な取組 ボランティアの育成 / ボランティア組織の構築 など

計画 老人福祉計画 / 介護保険事業計画

担当 福祉課

2020年現状

ニーズの把握と支援者の確保ができていない

2025年 めざす姿

ニーズを捉えて活動できる体制ができています

手段③：地区活動への支援

各地区の拠点施設など身近な地域内で実施される、自主的な支えあい活動を支援し、支えあいの輪を広げます。

主な取組 ミニデイ / 地域づくり支援事業の活用 など

計画 老人福祉計画 / 介護保険事業計画

担当 福祉課

2020年現状

送迎なしで集まれる場が少ない

2025年 めざす姿

身近な集まれる場所や活動が増えている



2節

めざす姿②：「みんなにあたたかさが届く村」 支援体制・制度の充実

少子高齢化が進み、高齢者のみの世帯やひとり暮らしの高齢者も増えていくことが見込まれます。高齢者や障がい者などさまざまな支援を必要とする方が、住み慣れた地域で活躍しながら自立した生活をするように支援体制や制度を充実させ、みんなにあたたかさが届く村をめざします。

目標とする指標

サービスや制度に対する満足度 **68.0%**

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：65.3%)

手段①：高齢者福祉の充実

歳を取っても住み慣れた地域でいきいきと自立した生活が送れるよう、介護サービスなど高齢者福祉事業の拡充や、医療、介護の連携体制の構築などをすすめます。

主な取組 介護予防事業 / 活躍の場創出 / 認知症高齢者支援体制の構築 など

計 画 老人福祉計画 / 介護保険事業計画

担 当 福祉課

2020年 現状

高齢者の生活を支える体制が不十分



2025年 めざす姿

状況にあった支援ができる体制が確立されている

手段②：交通手段の確保

高齢者の生活を支援し、外出の機会を確保するため、現行のタクシー券交付のほかに、有償ボランティアによる送迎など、よりニーズにあった交通手段の確保を検討します。

主な取組 タクシー券の交付 / 有償ボランティア送迎の検討 など

計 画 ー 担 当 福祉課

2021年 現状

高齢者の移動手段が少ない



2025年 めざす姿

有効な移動手段を確保する

手段③：障がい者福祉の充実

障がいを持つ方が自立した生活を送り、社会の中で活躍ができるよう、支援制度の充実や活躍の場づくり、地域の理解と共生を図ります。

主な取組 自立支援事業 / ひまわり応援金 / 農福の連携の取り組み研究 など

計 画 障がい者福祉計画 担 当 福祉課

2020年 現状

社会参加できる場が少ない



2025年 めざす姿

社会参加の場が増えている

手段④：精神保健事業の充実

精神疾患を早期に発見し、早期治療に結び付けることができる体制づくりを構築すると

ともに、精神疾患に対する正しい理解が得られる取り組みをすすめます。

主な取組 心の相談 / ゲートキーパー研修 など

計 画 健康増進計画

担 当 福祉課

2020年 現状

早期発見に結び付ける体制が不十分



2025年 めざす姿

支援体制が構築されている

手段⑤：ひきこもり対策

増加していると言われているひきこもりに対し、村内の状況を把握できる体制、有効な支援ができる体制の構築をすすめます。

主な取組 ひきこもりサポーターの養成 など

計 画 ー

担 当 福祉課

2020年 現状

状況の把握から支援につなげる体制ができていない



2025年 めざす姿

支援体制が構築されている

手段⑥：低所得者への支援

低所得者の生活を保護し、自立に向けた支援をするため、福祉事務所など関係機関と連携した相談、支援体制を確保します。

主な取組 相談ネットワーク体制の構築 など

計 画 老人福祉計画 / 介護保険事業計画

担 当 福祉課

2020年 現状

相談体制が不十分



2025年 めざす姿

相談体制が確立されている

手段⑦：関係部署・関係機関との連携

さまざまな年代や状況に対応する支援や相談が効果的に行われるよう、庁内の関係部署を始め関連機関などとの連携体制を強化します。

主な取組 民間事業所との連携 / 医療・介護・福祉の連携 / 後見センターとの連携 など
計 画 老人福祉計画 / 介護保険事業計画 / 障がい者福祉計画
担 当 福祉課・教育委員会

2020年 現状

提供できないサービスがある



2025年 めざす姿

必要なサービスが確保されている



3節

めざす姿③：「健康長寿の村」 健康増進と地域医療の充実

長野県は平均寿命全国1位の長寿の県です。その中でも宮田村は、特に女性の平均寿命が全国市町村の上位に位置づけられる長寿の村です。一方で、糖尿や高血圧などの慢性疾患が増加傾向にあり、健康寿命を延ばすことが課題となっています。宮田村は疾病予防のための取り組みや健康サポートを充実させることで、健康長寿の村をめざします。

目標とする指標

元気で日常生活を送る高齢者の割合 88.0%

(高齢者人口のうち要支援、要介護認定を受けていない人の割合 / 2019年：86.5%)

手段①：生活習慣病などの予防と早期発見

生活習慣病や感染症などの疾病を予防する取り組みを充実させるとともに、疾病の早期発見、重症化を防ぐため健診受診率の向上を図ります。

主な取組 各種健診の実施 / 健康相談の充実 / 予防接種の実施 など

計 画 健康増進計画

担 当 福祉課

2020年 現状

健診受診率が横ばいの状態



2025年 めざす姿

受診率が増加している

手段②：生活習慣などの改善

食習慣や運動習慣を改善するための保健指導、地区などによる健康づくり活動に対する支援の充実を図ります。また、基本的な感染症対策を身につけるための啓発を行います。

主な取組 保健指導、健康教室の実施や支援 / 啓発活動 など

計 画 健康増進計画

担 当 福祉課

2020年 現状

保健指導や健康教室を実施している

2025年 めざす姿

生活習慣病の疾病者が減少している

手段③：地域医療の充実

身近なかかりつけ医、二次医療や緊急医療などを行う総合病院など、地域医療機関が連携した医療体制の充実を図ります。

主な取組 昭和伊南総合病院の運営 / 医療・介護・福祉の連携 など

計 画 ー

担 当 福祉課

2020年 現状

地域の医師不足
地域内医療機関の連携が開始されている

2025年 めざす姿

安心できる体制が確保されている

手段④：保険制度の健全運営

医療や介護サービスなどを安心して受けることができるよう、保険制度の健全運営をすすめます。また予防事業や介護サービスの充実を図ります。

主な取組 国民健康保険の運営 / 後期高齢者医療保険の運営 / 介護保険の運営

計 画 ー

担 当 住民課・福祉課

2020年 現状

医療給付費が増加している

2025年 めざす姿

健全な制度運営を維持する

協働の村づくり



1節

めざす姿①：「顔の見える村づくり」 協働体制の推進

「人のつながりが深く、みんな仲がいいのが小さな宮田村のいいところ」という意見が高校生や20代を対象のワークショップでも多く聞かれました。お互いの顔が見え信頼関係を築くことが協働の第一歩です。むらづくり基本条例で掲げる村民みんなが主役の笑顔あふれる村を実現するため、住民がそれぞれの役割を担う協働の村づくりをすすめます。

目標とする指標

協働活動する団体数 **40 団体**

(村の支援事業を受けて活動する団体で補足 / 2019年：28 団体)

手段①：情報の発信と共有

村の取り組み施策をさまざまな形で村内外に広く発信するとともに、課題を共有し住民の参画、協働につなげられるよう、広報広聴活動の充実を図ります。



主な取組 広報紙などによる発信
SNSなどの活用 / 語ろう会や提言箱 など

計画 ー

担当 みらい創造課

2020年 現状

発信と収集手段が限られている

2025年 めざす姿

発信と収集手段が増えている

手段②：協働体制の構築

高校生や若い世代も含め、いろんな立場の人が一緒に村づくりに参画することができるよう、その体制づくりを進めます。

主な取組 むらづくり委員会の活用 / 団体やグループ、若者とのワークショップ など

計 画 ー

担 当 みらい創造課

2020年 現状

協働の具体的な手段がわからない



2025年 めざす姿

協働ができる仕組みができている

手段③：女性の声を村政に活かす

女性が持つ母性や感性、生活に密着した生の声を施策に活かすため、女性の声を聴き、共に考える場を創出します。



主な取組 女性会議おしゃべりカフェの充実
むらづくり委員会や行政評価委員会 など

計 画 ー

担 当 みらい創造課

2020年 現状

声を聞く取り組みを実施している



2025年 めざす姿

声を活かす仕組みができている

手段④：地域自治・コミュニティー活動の充実

各地区や地域の活動、団体やグループの活動やボランティア活動を支援するとともに、そのリーダーや組織の育成を支援し、村づくりを担う自主的な活動の充実を図ります。

主な取組 地域づくり支援事業 / 職員の地区担当制度 など

計 画 ー

担 当 みらい創造課

2020年 現状

活動内容が限られている



2025年 めざす姿

地域の活動数が増えている



2節

めざす姿②：「みんないきいきと活躍する村」生涯学習と住民活動の充実

みんなが活躍の場を持ち、自分を認められ地域の中でいきいきと楽しく活動する一。そんな活動のきっかけとなる地区や公民館、生涯学習の活動を支援します。公民館活動や学習環境を充実させ、多くの人に参加してもらうことで、地域コミュニティの創出、地域づくり、住みよい宮田村づくりのための活動につなげます。

目標とする指標

公民館活動数 180件

(宮田村公民館の講座・教室などの延べ数 / 2019年：173件)

手段①：人権の尊重・男女共同参画

住みよい村づくりの基本は人権が尊重される村づくりにあると捉え、人権教育や男女共同参画社会、多文化共生社会の実現に取り組みます。

主な取組 人権学習会の開催 / 人権相談 / 国際交流事業 など

計 画 男女共同参画計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

定期的な学習会などを開催



2025年 めざす姿

住みやすいと思う人が増えている

手段②：誰もが参加しやすい活動の場づくり

地域の課題を共に考え、地域づくりの活動やコミュニティの創出につなげるため、協働の身近な窓口となる生涯学習、公民館活動の充実を図ります。

主な取組 講座・大会などの開催 / 分館・登録団体への支援 / 利用しやすい施設管理 など

計 画 生涯学習基本計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

参加者が固定化されてきている

2025年 めざす姿

参加者数が増えている

手段③：図書館の充実

誰もが学習できる場、地域の情報拠点、郷土の資料館として、子どもから大人までみんなが集い学ぶ図書館の充実を図ります。

主な取組 資料のデジタル化 / おはなし会の会の開催 など

計 画 子ども読書推進計画

担 当 教育委員会

2020年 現状

来館者が固定化されてきている

2025年 めざす姿

来館者が増えている



3節

めざす姿③：「伝統と誇りを共有する村」地域文化の継承と振興

縄文時代前期では本州最大規模といわれる中越遺跡や、江戸時代、街道の要衝だった宮田宿、その宿場を練り歩く“暴れ神輿”など宮田村には多くの歴史や文化が息づいています。村民共通の財産であるこの伝統文化を、みんなで守り育て、次代に継承するとともに、宮田村の誇りとして村づくりへの活用を図ります。

目標とする指標

村の歴史や文化に誇りを持っている人 **80.0%**

(2019年参考：文化財や地域文化の保存活用・伝承に対する満足度 74.8%)

手段①：地域文化の保護と伝承

数多く存在する文化財を適切に保護するとともに、調査研究によりその価値を見える化することで、村の宝である文化財や伝統文化を次代に伝える取り組みを充実します。

主な取組 研究調査 / 文化財登録・指定の推進 / 解説ボランティアの育成 など

計 画 宮田宿本陣旧新井家住宅等保存活用計画 / 中央アルプス駒ヶ岳保存管理計画

担 当 教育委員会

2020年現状

伝承手段が限られている



2025年 めざす姿

伝承手段が増えている

手段②：地域文化の発信と活用

文化財や伝統文化を効果的に公開、展示、発信できる取り組みをすすめます。また、村民が自分たちの誇りとして捉え、村の魅力向上につながる活用方法を研究します。

主な取組 収蔵品の展示 / デジタル化による発信 / 宮田宿をまちづくりに活用 など

計 画 宮田宿本陣旧新井家住宅等保存活用計画

担 当 教育委員会・みらい創造課

2021年現状

活用手段が限られている



2025年 めざす姿

活用手段が増えている

村民の皆さまのための行政事務



1節

めざす姿①：「効率的で効果的なサービスの提供」

前計画期間では「村民の皆さまのために」を村政運営のスローガンに、窓口サービスの改善や業務の効率化に取り組んできました。アンケートの結果を見ても、その成果が少しずつ表れてきていることがわかります。引き続き、村民の皆さまのための村政運営を常に念頭に置き、前例にとらわれない柔軟で深い思考と熱い行動で行財政運営にあたります。

目標とする指標

効率的・効果的なサービス提供に対する満足度 **70.0%**

(アンケート調査“満足”“まあ満足”と答える割合 / 2019年：59.6%)

手段①：健全財政の推進

財源の確保と起債の抑制に努め、施策を捉えた効果的な歳出予算配分により、財政健全化をすすめます。また、特別会計や企業会計、土地開発公社の財政健全化をすすめます。

主な取組 計画範囲内の起債発行 / ふるさと納税など自主財源確保の取り組み など

計 画 中期財政計画 / 土地開発公社経営健全化計画

担 当 総務課

2020年 現状

財政健全化がすすんでいる



2025年 めざす姿

健全化指標の改善が維持されている

手段②：住民による評価の実施

効率的で効果的な行政運営をすすめるため、住民の目線で事業の有効性や効率性をチェックする行政評価を実施し、事業改善につなげる運用を強化します。

主な取組 行政評価（内部評価・外部委評価）の実施と公表 / 改善報告の実施 など

計 画 ー

担 当 みらい創造課

2020年 現状

改善につなげるアクションが不十分



2025年 めざす姿

評価結果が十分に活かされている

手段③：効率的な業務推進

庁内の連携や多能工化の取り組みなどにより、効率的な業務体制の整備をすすめます。また、広域行政による効率化の推進、A I活用や民間委託についても研究をすすめます。

主な取組 全業務のマニュアル化の充実 / 上伊那広域連合など広域行政 など

計 画 ー

担 当 総務課

2020年 現状

整備研究体制が不十分



2025年 めざす姿

新たな取り組みを実施している

手段④：職員の意識改革と能力開発

業務の目的を捉え、部署を越えた横展開の活動、現場から積み上げるボトムアップの活動や窓口サービス向上の取り組みなどをおして、職員の能力アップを図ります。

主な取組 9 S活動 / 提案制度や庁内横断体制によるプロジェクト活動 / 研修会 など

計 画 ー

担 当 総務課・みらい創造課

2020年 現状

いくつかの取り組みを実施している



2025年 めざす姿

活動の効果が上がっている



2節

めざす姿②：「施設や資産の適正な管理」

村では役場や学校などの公共施設をはじめ、道路や上下水道など生活を支える多くの施設を所有しています。これらの老朽化が進行し、更新時期を迎えていること、老朽化により維持管理費が増大していることは財政運営上も大きな課題となっています。村内の全施設を捉えた管理計画を策定し、村民共有の財産の適正な管理と有効活用をすすめます。

目標とする指標

公共施設の総量 **7.0% 縮減**

(2019年総量：延べ床面積 44,300㎡)

手段①：計画的な管理

村のすべての施設について策定されている公共施設等総合管理計画に基づき、詳細な修繕や改修、更新や統合などの計画を策定し、計画的な管理をすすめます。

主な取組 施設更新計画・財政シュミレーションの実施 など

計 画 公共施設等総合管理計画 ほか

担 当 総務課・建設課・福祉課・教育委員会 ほか

2020年 現状

総合管理計画が策定されている



2025年 めざす姿

計画に基づいた管理が進んでいる

手段②：管理方法の研究

現在、体育施設の管理などで導入されている指定管理者制度の拡大を検討するとともに、民間主導で施設の建設や管理、運営を行うPFIなどの研究もすすめます。

主な取組 指定管理者制度 など

計 画 ー

担 当 総務課・福祉課・教育委員会

2020年 現状

指定管理以外の活用は検討されていない



2025年 めざす姿

活用を検討しその結果を示すことができる



